

# 上松町 橋梁長寿命化修繕計画



令和 6 年 3 月

上 松 町

## 目 次

1. 老朽化対策における基本的方針	1
1) 基本的な方針	
2) 長寿命化修繕計画の目的や対象施設	
3) 計画期間	
4) 管理施設数	
5) 健全性の判定区分の割合	
6) 修繕等措置の着手状況	
7) 対策の優先順位の考え方	
2. 新技術等の活用方針	9
1) 新技術等の活用に関する考え方	
2) 新技術等の活用に関する目標	
3. 費用の縮減に関する具体的な方針	10
1) 費用の縮減を図るための考え方	
2) 費用の縮減目標	
3) 集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針	
4. 諸元および点検結果	13
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕時期又は架替時期	15
6. 計画策定担当部署および意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	21

## 1. 老朽化対策における基本的方針

### 1) 基本的な方針

#### ①健全性の把握

国土交通省『定期点検要綱』に準じた定期点検を5年に1回を目途に実施することで、橋梁の損傷状況（耐荷性）を把握し、今後の修繕計画に反映させます。

定期点検の実施により、現状を把握しながら適切な時期に適切な修繕工事を実施することで、損傷の進行に起因する通行制限等が減少し、橋梁の安全性が向上するとともに、道路ネットワークの信頼性も確保させます。

#### ②日常的な維持管理

日常的な維持管理として、公用車により走行面の変状について点検を行います。また、以下のような小規模な維持作業は随時実施します。

- ・橋面の清掃、排水ますの清掃、堆積土の撤去等

#### ③維持管理手法

限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みとして、従来の「壊れたら直す」対症療法から、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う「予防保全型」へと転換を図り、橋梁の寿命を延ばすことによってトータルコストの縮減を図ります。

また、橋梁の修繕に係る費用を予測して、予算の投資額を平準化した修繕計画を策定することで、厳しい予算制約の中で計画的な事業の実施を図ります。

## 2) 長寿命化修繕計画の目的や対象施設

### ①背景

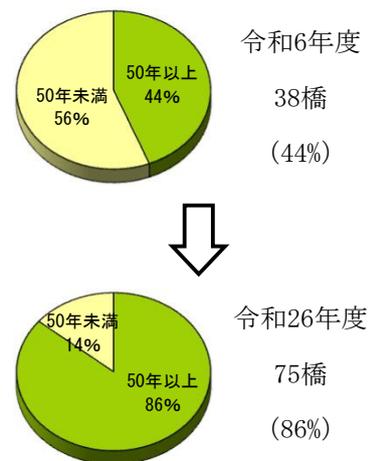
上松町が管理する橋梁は、令和6年度現在で87橋架設されています。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は38橋で、橋梁全体の44%を占めています。なお20年後の令和26年には、その数が75橋となり全体に対して占める割合が86%程度まで増加し、急速に橋梁の高齢化が進行することが予想されます。

今後、これら的高齢化を迎える橋梁群に対し、従来の維持管理方法である対症療法型、いわゆる”壊れたら直す”の方法で維持管理を続けた場合には、橋梁の修繕や架替に要する費用が莫大となることが予想され、その結果一時的に多額の修繕予算を確保しなければならない状況を招くことが懸念されます。

更に予算確保が困難なことを理由に適切な時期の修繕を先送りにした場合には、劣化の進行により橋梁が通行不能に陥り、その結果地域交通網に多大な損害を与える恐れもあります。

対象橋梁87橋の高齢化の推移  
(現在→20年後)



### ②目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

そこで上松町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

### ③対象施設

管理橋梁のうち、橋長 2.0 m 以上の鋼橋、コンクリート橋及び木橋の合計87橋を対象とします。

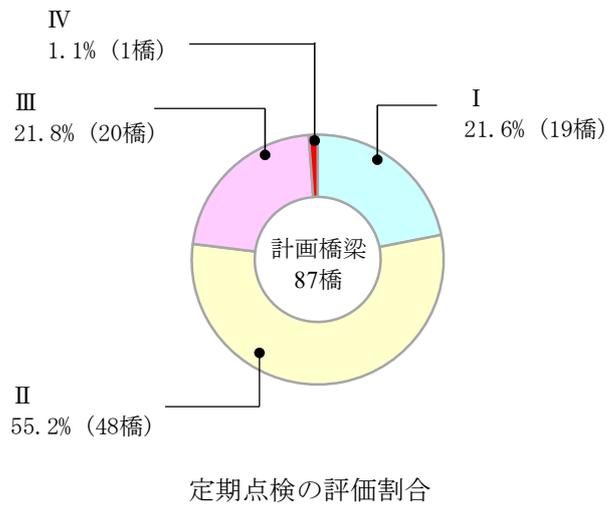
### 3) 計画期間

令和6年度（2024年度）から 令和10年度（2028年度）

### 4) 管理施設数

全管理橋梁数	91 橋
うち計画の対象橋梁数	91 橋
うちこれまでの計画策定橋梁数	91 橋
うち令和6年度計画策定橋梁数	87 橋

### 5) 健全性の判定区分の割合



判定	橋梁数
I	19 橋
II	48 橋
III	19 橋
IV	1 橋
計	87 橋

## 6) 修繕等措置の着手状況

修繕等の措置については優先順位、交通量等を考慮し順位の高い順に次回点検まで完了することを目標に対策を実施します。

点検年度	補修対象橋梁	対策状況	
		工事完了数	完了率
【1巡目】 H25～H30	19	6	32%
【2巡目】 R1～R5	20	6	30%

※ 1巡目と2巡目では、判定基準が改定されている。

## 7) 対策の優先順位の考え方

### ①優先順位

優先順位は判定結果に基づいた耐荷性と橋梁ごとの重要度のそれぞれを下表に示すように、3つの区分に分類し、9つのカテゴリーに分類します。各カテゴリーに優先順位を1位～9位の間で設定します。

		重要度		
		60以上	30以上 ～60未満	30未満
耐荷性	30未満	1位	2位	4位
	30以上～60未満	3位	5位	6位
	60以上	7位	8位	9位

< 損傷度 >

はじめに、各部材の評価点に重み係数を乗じた各部材の損傷度を算出します。  
 その次に、各部材の損傷度を合計した径間ごとの損傷度を算出します。  
 各径間の損傷度のうち最大値を橋梁全体の損傷度とします。

◆点検結果に対する評価点

点検結果	評価点
I	0
II	20
III	60
IV	80

健全



◆部材項目に対する重み係数

部材項目	重み係数
上部工主部材	0.7
床版	0.7
下部工	0.4
支承	0.3
舗装	0.2
伸縮装置	0.1

(計算例)

	部材項目	点検結果	評価点	重み係数	損傷度
1 径 間	主桁	II	20	0.7	14.0
	床版	II	20	0.7	14.0
	下部工	II	20	0.4	8.0
	支承	I	0	0.3	0.0
	舗装	III	60	0.2	12.0
	伸縮装置	III	60	0.1	6.0
1径間目の損傷度					54.0

2 径 間	主桁	III	60	0.7	42.0
	床版	II	20	0.7	14.0
	下部工	I	0	0.4	0.0
	支承	II	20	0.3	6.0
	舗装	II	20	0.2	4.0
	伸縮装置	I	0	0.1	0.0
2径間目の損傷度					66.0

橋梁全体の損傷度					66.0
----------	--	--	--	--	------

< 耐荷性 >

100から橋梁全体の損傷度を引いた値を耐荷性とします。  
 損傷度が100以上の場合には、耐荷性はゼロとします。

※橋の健全性を相対的に点数で判定したもので、強度を数値的に示したものではない

(計算例)

橋梁全体の損傷度	66.0
耐荷性	34.0 ( 100 - 66.0 )

< 重要度 >

上松町に適用する諸元項目を検討して、評価項目ごとに点数付けを行います。

その点数に重み係数を乗じて諸元重要度とします。諸元重要度の合計を橋梁ごとの重要度とします。

$$\text{重要度} = \Sigma (\text{重み係数} \times \text{評点})$$

諸元項目	重み係数	評価項目	評点
迂回路の有無	0.40	無し	100
		有り	0
橋長	0.35	50m以上	100
		15m以上50m未満	50
		15m未満	0
交差状況	0.25	鉄道・道路	100
		河川・その他	50

(計算例) 迂回路有り、橋長20m、鉄道に架けられた橋の場合

諸元項目	重み係数	評価項目	評点	諸元重要度
迂回路の有無	0.40	有り	0	0.0
橋長	0.35	15m以上50m未満	50	17.5
交差状況	0.25	鉄道	100	25.0
合計 (橋梁ごとの重要度)				42.5

< 劣化曲線 >

劣化は全て下記の曲線式を基本として想定し、個別橋梁の修繕時期または架替時期を推測します。

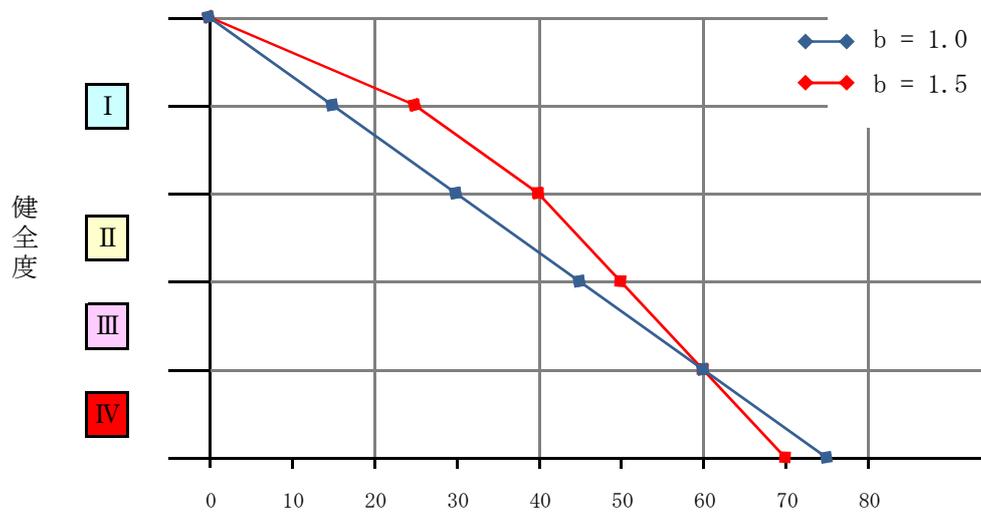
$$y = 5 - a * x^b$$

- ここで、
- y : 健全度
  - x : 経過年
  - a : 劣化機構による係数 (管理限界に達する想定年数による係数)
  - b : 劣化進行加速度係数  $\geq 1.0$

上段：建設時からの経過年  $x = \{ (5-y) / a \}^{1/b}$

下段：健全度別滞留年数  $x = x_y - x_{(y+1)}$

IVに達する予想年数 (耐用年数 $x_E$ )	b	a	部材健全度					
			5	4	3	2	1	0
				$y \geq 4$	$4 > y \geq 3$	$3 > y \geq 2$	$2 > y \geq 1$	$1 > y$
60年	1.0	0.0667	0	15	30	45	60	75
60年	1.5	0.0086	0	24	38	50	60	70
				15	15	15	15	15
				24	38	50	60	70
				24	14	12	10	10



## 2. 新技術等の活用方針

### 1) 新技術等の活用に関する考え方

橋梁の修繕、更新、撤去の実施にあたっては、費用の縮減や事業の効率化などを図るための対策案の比較検討において、従来工法のみでなく新工法や新材料などの新技術等を加えた比較検討を実施します。

橋梁の点検にあたっては、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログ（案）、建設技術審査証明などを参考に、新技術の活用を検討し事業の効率化やコスト縮減を図ります。

### 2) 新技術等の活用に関する目標

令和6年度から修繕を行うすべての橋梁で新工法や新材料などの新技術を加えた比較検討を実施します。

点検では対象橋梁87橋のうち、特に橋梁点検車及び高所作業車を使用した47橋（約52%）においては新技術の活用を重点的に検討し、令和10年までの5年間で約50万円のコスト縮減を目指します。

点検車	45 橋
吊橋	2 橋
梯子等	39 橋
JR渡架橋梁	1 橋
合計	87 橋

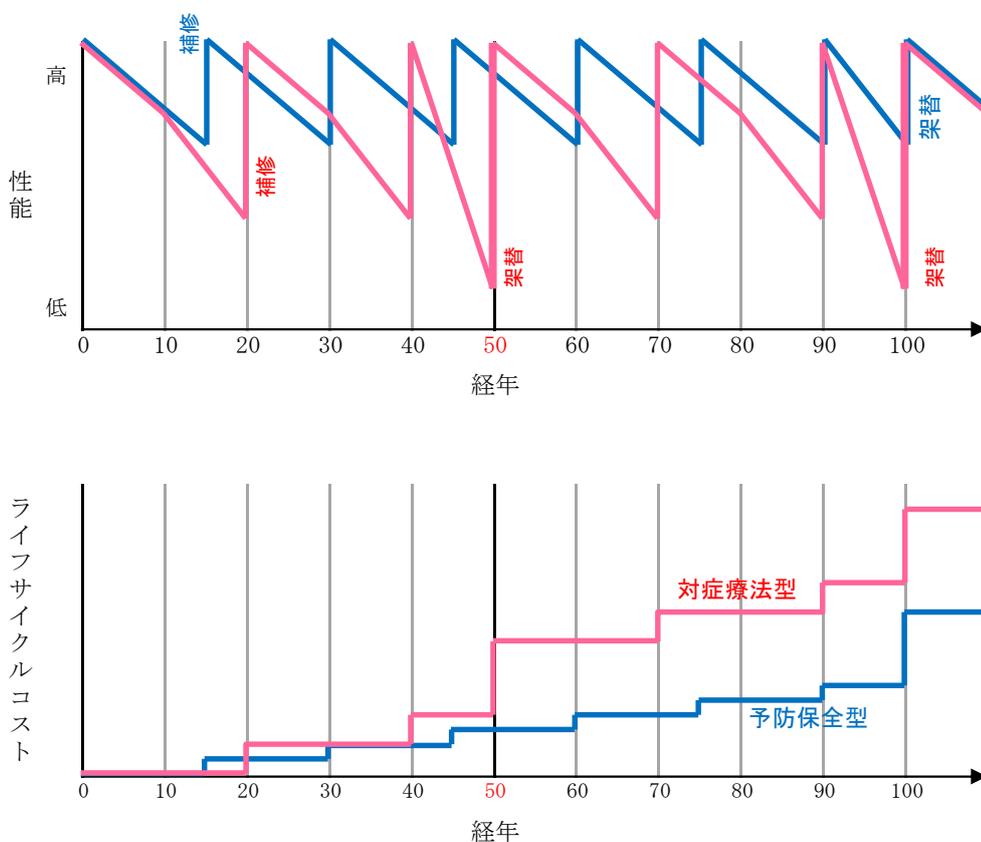
### 3. 費用の縮減に関する具体的な方針

#### 1) 費用の縮減を図るための考え方

上松町が管理する橋梁の中で、20年後の令和26年には、建設後50年を経過する橋梁の割合が86%程度まで増加し、急速に橋梁の高齢化が進行することが予想されます。

これまでの橋梁施設の管理方法を対症療法型から予防保全型とし、橋梁の長寿命化を図り、架替費用を含めたトータルコストの縮減を図ります。

以下にそれぞれの維持管理手法における施設性能とライフサイクルコストのイメージを示します。



## 2) 費用の縮減目標

### ①直営点検による費用縮減

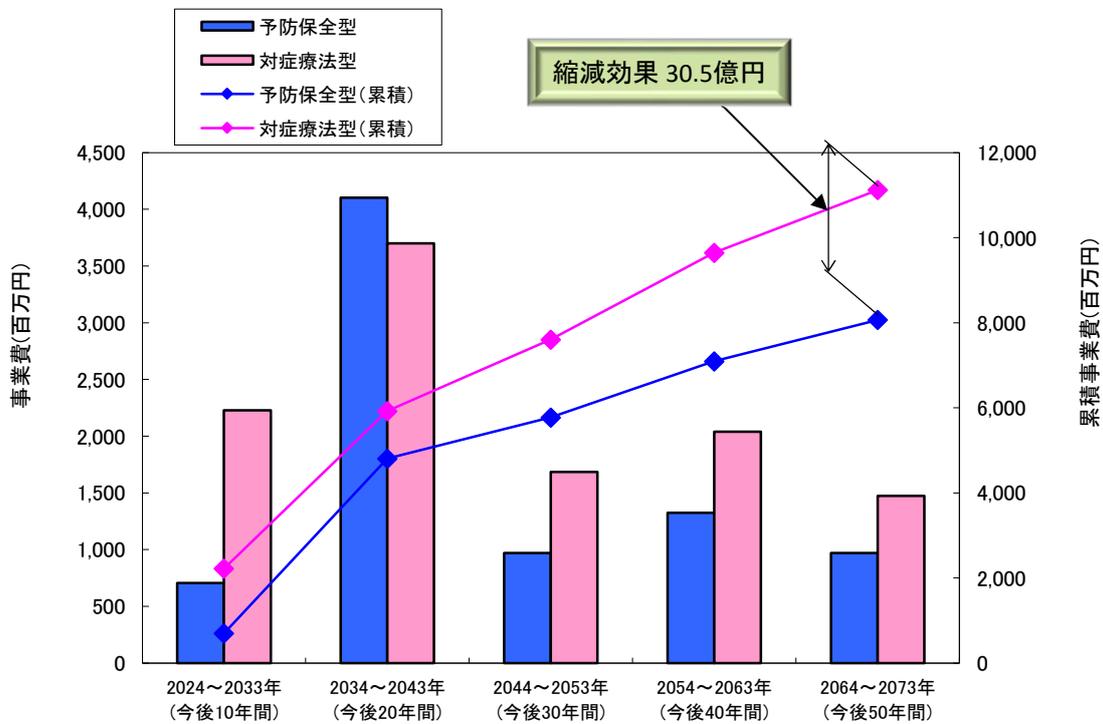
小規模橋梁の9橋については直営点検を行うことでコスト縮減を目指します。

### ②最小限の修繕

車両の通行しない橋梁については、必要最小限の修繕にとどめ、費用を削減します。

### ②予防保全型による費用縮減

対象橋梁87橋について、従来の対症療法型から予防保全型による長寿命化修繕計画を実施することによって、今後50年間で約30.5億円の縮減をめざします。



(億円)

	2024~2033年	2024~2033年	2024~2033年	2024~2033年	2024~2033年	累計
対症療法型	22.3	37.0	16.8	20.4	14.7	111.2
予防保全型	7.0	41.0	9.7	13.2	9.7	80.7
縮減効果	15.2	-4.0	7.1	7.2	5.0	30.5

### 3) 集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針

#### ①集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針

点検の結果、判定がIVとなった場合、現状において通行止め等の措置がされているなど交通需要が極めて低く、近隣に迂回路（代替路）が存在し、地元合意が取れている等の橋梁については、維持管理費用の軽減を目的に集約化・撤去を検討します。

損傷状況や利用状況により撤去が効果的である橋梁は、健全性に大きな問題が生じた段階で撤去・廃止を実施します。

詳細検討の結果、架替が妥当と判断された橋梁については、可能な限りボックスカルバート等のプレキャスト製品の採用を検討し、維持管理の省力化・コスト縮減を図ります。

事情により集約化・撤去が困難である橋梁については、車道橋から歩道橋など機能の縮小を検討します。

#### ②集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する目標

令和8年度までに利用頻度の考慮や地元住民の移行を踏まえ、1橋の集約化・撤去を検討し、維持管理費の費用削減を目指します。

#### 4. 諸元および点検結果

番号	橋梁コード	橋名	橋長 (m)	架設年次	径間数	上部構造	全体評価	耐荷性	重要度	優先順位	今後5年間の措置計画
1	001	荒田橋	13.4	1969	1	H型鋼	Ⅱ	72	13	9 - 10	
2	002	穴沢橋	3.2	1961	1	R C床版	Ⅲ	66	13	9 - 7	
3	003	高山橋	12.4	1976	1	H型鋼	Ⅱ	62	13	9 - 1	
4	005	仏法橋	9.6	1993	1	R C床版	Ⅱ	82	13	9 - 21	
5	006	神田橋	9.2	1993	1	R C床版	Ⅱ	82	13	9 - 22	
6	007	大木橋	4.4	1990	1	R C床版	Ⅲ	66	13	9 - 8	
7	008	芦島橋	10.4	1968	1	H型鋼	Ⅱ	80	13	9 - 19	
8	010	吉野橋	65.0	2003	2	鋼鈹桁	Ⅱ	82	48	8 - 5	
9	011	空澤橋	6.5	1963	1	R C T桁	Ⅱ	74	13	9 - 12	
10	015	焼笹橋	29.6	1965	2	鋼鈹桁	Ⅱ	54	30	5 - 4	
11	020	棧橋	51.1	1959	1	鋼ランガー	Ⅱ	92	48	8 - 10	
12	021	池島橋	2.2	1971	1	R C床版	Ⅱ	92	13	9 - 28	
13	023	木賊橋	2.7	1970	1	H型鋼	Ⅱ	62	13	9 - 2	
14	024	向高山橋	12.5	1988	1	プレテン床版	Ⅲ	84	53	8 - 3	
15	025	小脇橋	13.5	1970	1	プレテン床版	Ⅰ	100	13	9 - 33	
16	026	川畑橋	8.4	1979	1	プレテン床版	Ⅰ	100	13	9 - 34	
17	027	しみっくり橋	10.7	2006	1	アーチカルバート	Ⅰ	100	13	9 - 35	
18	028	山室橋	5.9	1979	1	R C床版	Ⅰ	100	13	9 - 36	
19	029	黒田橋	9.2	1983	1	R C床版	Ⅰ	100	13	9 - 37	
20	030	桃山橋	99.7	1986	1	鋼アーチ	Ⅱ	52	48	5 - 2	
21	031	釜中沢橋	14.0	1989	1	H型鋼	Ⅱ	72	13	9 - 11	
22	033	田代沢橋	2.8	1975	1	R C床版	Ⅱ	74	13	9 - 13	
23	035	大畑橋	51.5	1986	2	ポステンT桁	Ⅲ	82	48	8 - 6	修繕
24	036	高倉橋	31.1	1963	1	ポステンT桁	Ⅲ	54	30	5 - 5	修繕
25	037	トヤノ沢橋	3.0	2011	1	BOXカルバート	Ⅰ	100	13	9 - 38	
26	045	復興橋	12.5	1988	1	プレテン床版	Ⅱ	74	13	9 - 14	
27	100	笹沢橋	5.7	1998	1	門型ラーメン	Ⅱ	74	13	9 - 15	
28	101	十王橋	17.6	1998	1	プレテン床版	Ⅰ	100	30	8 - 23	
29	102	若宮橋	14.0	1965	1	H型鋼	Ⅱ	82	13	9 - 23	
30	103	旧旭橋	18.6	1934	1	鋼鈹桁	Ⅲ	18	30	2 - 4	
31	104	下旭橋	12.5	1967	1	H型鋼	Ⅱ	64	13	9 - 3	
32	105	下旭上橋	17.5	1965	2	H型鋼	Ⅱ	82	30	8 - 20	
33	106	巾橋	8.8	1970	1	鋼鈹桁	Ⅰ	100	53	8 - 7	
34	107	寝覚ノ床1号橋	2.4	1961	1	H型鋼	Ⅱ	64	13	9 - 4	
35	108	寝覚ノ床2号橋	5.3	1961	1	H型鋼	Ⅱ	56	13	6 - 4	
36	109	小野ヶ谷橋	126.4	1954	1	吊橋	Ⅳ	0	48	2 - 1	
37	114	串ヶ下沢橋	3.2	1978	1	R C床版	Ⅲ	84	13	9 - 26	
38	115	箱畳沢橋	2.9	1980	1	R C床版	Ⅱ	100	13	9 - 39	
39	116	宮戸上橋	4.2	2022	1	H型鋼	Ⅰ	100	13	9 - 40	
40	117	諸原橋	90.2	1956	1	吊橋	Ⅲ	12	48	2 - 2	
41	118	川渡沢橋	8.7	2000	1	R C床版	Ⅰ	100	13	9 - 41	
42	122	大屋敷橋	8.1	1990	1	木橋	Ⅰ	100	53	8 - 8	
43	124	高山2号橋	4.7	1959	1	木橋	Ⅱ	82	53	8 - 2	
44	127	灰沢橋	53.0	1978	2	鋼鈹桁	Ⅱ	52	88	3 - 1	
45	128	下新田橋	21.8	1978	1	H型鋼	Ⅱ	74	70	7 - 2	
46	129	中新田橋	16.5	1980	1	H型鋼	Ⅱ	82	30	8 - 21	
47	130	上新田橋	12.5	1980	1	H型鋼	Ⅱ	82	13	9 - 24	
48	131	大瀬木橋	11.0	1990	1	H型鋼	Ⅰ	100	53	8 - 9	
49	136	焼笹才児4号橋	7.9	1990	1	木橋	Ⅰ	100	13	9 - 42	
50	138	中ノ沢橋	10.4	1966	1	H型鋼	Ⅲ	64	13	9 - 5	
51	140	横手橋	6.3	1980	1	プレテン床版	Ⅱ	92	13	9 - 29	
52	144	宮戸橋	4.2	2022	1	BOXカルバート	Ⅰ	100	13	9 - 43	
53	151	鳥屋尾橋	30.6	1965	1	鋼鈹桁	Ⅱ	72	30	8 - 17	
54	152	小中尾橋	10.5	1970	1	H型鋼	Ⅱ	74	13	9 - 16	

番号	橋梁コード	橋名	橋長(m)	架設年次	径間数	上部構造	全体評価	耐荷性	重要度	優先順位	今後5年間の措置計画
55	153	北股橋	30.6	1965	1	鋼鈹桁	Ⅱ	82	30	8 - 22	
56	154	南股橋	36.6	1965	1	鋼鈹桁	Ⅱ	74	30	8 - 18	
57	155	麿香沢橋	8.5	1966	1	H型鋼	Ⅱ	92	13	9 - 30	
58	156	上麿香沢橋	13.9	1974	1	H型鋼	Ⅲ	46	13	6 - 2	修繕
59	157	野口橋	9.0	1985	1	R C床版	Ⅰ	100	13	9 - 44	
60	158	下河原橋 1	4.0	1985	1	BOXカルバート	Ⅱ	74	13	9 - 17	
61	159	沖田 1 号橋	4.0	1951	1	H型鋼 (木床版)	Ⅱ	64	13	9 - 6	
62	160	近所橋	9.7	1987	1	プレテン床版	Ⅱ	92	13	9 - 31	
63	162	奥荒田橋	11.4	1985	1	プレテン床版	Ⅰ	100	13	9 - 45	
64	163	登玉 2 号橋	9.4	1990	1	プレテン床版	Ⅱ	92	13	9 - 32	
65	164	境ノ沢橋	10.6	1990	1	プレテン床版	Ⅲ	84	13	9 - 27	
66	167	下河原橋 2	92.0	1975	3	鋼鈹桁	Ⅱ	54	48	5 - 3	
67	168	下河原 1 号橋	8.0	1974	1	R C床版	Ⅱ	78	13	9 - 18	
68	169	下河原 2 号橋	6.0	1974	1	R C床版	Ⅲ	52	13	6 - 3	修繕
69	170	下河原 3 号橋	6.0	1974	1	R C床版	Ⅲ	80	13	9 - 20	修繕
70	171	滑川大橋	92.0	1990	1	鋼ランガー	Ⅲ	64	48	8 - 1	修繕
71	172	小川橋	96.8	1965	2	鋼トラス	Ⅱ	80	48	8 - 4	
72	173	中沢橋 1	28.2	1965	1	鋼鈹桁	Ⅱ	74	30	8 - 19	
73	174	中沢橋 2	25.0	1954	3	R C T 桁	Ⅱ	64	30	8 - 13	
74	175	見帰跨道橋	22.3	1993	1	プレテンT桁	Ⅱ	88	43	8 - 12	
75	176	滑川橋	26.3	1954	1	R Cアーチ	Ⅲ	64	30	8 - 14	修繕
76	177	南上条跨道橋	22.0	2010	1	P C箱桁	Ⅱ	96	43	8 - 15	
77	178	北上条第二跨道橋	29.1	2010	3	P Cラーメン	Ⅱ	98	43	8 - 16	
78	179	長坂栈道橋	190.1	1966	9	鋼鈹桁	Ⅲ	12	48	2 - 3	修繕
79	180	新茶屋橋	8.9	1965	1	R C T 桁	Ⅲ	44	13	6 - 1	修繕
80	181	曇呑橋	8.5	1969	1	プレテン床版	Ⅰ	100	13	9 - 46	
81	182	万路沢橋	5.0	1965	1	R C床版	Ⅲ	82	13	9 - 25	
82	183	万路沢側歩道橋	5.2	1965	1	R C床版	Ⅱ	66	13	9 - 9	
83	184	かけはし栈道橋	40.6	1966	3	プレテン床版	Ⅱ	56	30	5 - 6	
84	185	小田野橋	84.5	2002	2	鋼箱桁	Ⅱ	92	48	8 - 11	
85	186	沖田跨線橋	18.0	1970	7	H型鋼	Ⅲ	32	43	5 - 1	修繕
86	187	旭橋	17.0	2019	1	プレテン床版	Ⅰ	100	70	7 - 3	
87	188	寢覚跨道橋	51.6	1987	3	H型鋼	Ⅰ	100	100	7 - 1	

※修繕、更新、集約化、撤去、監視などいずれかの主な措置内容については、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）の5年間の計画を示す。

※耐荷性は橋の健全性を相対的に判断する時に使用する指標であり、橋の強度を数値的に示すものではない。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕時期又は架替時期

凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	有効幅員(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期									
								R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
001	荒田橋	町道 高山線	13.4	4.0	1969	55	R3			点検					点検		
002	穴沢橋	町道 高山線	3.2	3.6	1961	63	R3		点検					点検			
003	高山橋	町道 高山線	12.4	4.0	1976	48	R4				点検					点検	
005	仏法橋	町道 駒ヶ岳線	9.6	5.8	1993	31	R1	点検					点検				↔
006	神田橋	町道 駒ヶ岳線	9.2	7.8	1993	31	R1	点検					点検				↔
007	大木橋	町道 芦島線	4.4	4.0	1990	34	R1	点検					点検	↔			↔
008	芦島橋	町道 芦島線	10.4	4.0	1968	56	R3			点検			↔	点検			
010	吉野橋	町道 滑川線	65.0	9.3	2003	21	R2		点検				点検	↔			
011	空澤橋	町道 立町線	6.5	4.6	1963	61	R2		点検				点検			↔	
015	焼笹橋	町道 赤沢線	29.6	4.0	1965	59	R3			点検					点検		
020	棧橋	町道 上条線	51.1	3.6	1959	65	R3			点検					点検		
021	池島橋	町道 上条線	2.2	5.0	1971	53	R2		点検					点検		↔	
023	木賊橋	町道 上条線	2.7	4.0	1970	54	R2		点検				↔	点検			
024	向高山橋	町道 新茶屋線	12.5	4.0	1988	36	R3			点検					点検		
025	小脇橋	町道 小脇下線	13.5	3.0	1970	54	R4				点検					点検	
026	川畑橋	町道 野口北線	8.4	5.0	1979	45	R4				点検					点検	
027	しみっくり橋	町道 ねざめ見帰線	10.7	5.2	2006	18	R1	点検					点検				
028	山室橋	町道 二合目線	5.9	6.0	1979	45	R4				点検					点検	
029	黒田橋	町道 黒田線	9.2	5.0	1983	41	R5				点検					点検	
030	桃山橋	町道 桃山線	99.7	6.5	1986	38	R3			点検					点検		
031	釜中沢橋	町道 黒田線	14.0	4.0	1989	35	R4				点検					点検	
033	田代沢橋	町道 小田野・田口線	2.8	4.0	1975	49	R2		点検					点検		↔	
035	大畑橋	町道 大畑線	51.5	4.0	1986	38	R2		↔	点検				点検			↔
036	高倉橋	町道 高倉開拓線	31.1	3.6	1963	61	R3			↔	点検				点検		
037	トヤノ沢橋	町道 高倉開拓線	3.0	5.0	2011	13	R3			点検					点検		
045	復興橋	町道 広小路笹沢線	12.5	12.0	1988	36	R3			点検					点検		↔
100	笹沢橋	町道 北ノ沢線	5.7	6.8	1998	26	R4				点検					点検	
101	十王橋	町道 上町線	17.6	5.0	1998	26	R4				点検					点検	
102	若宮橋	町道 金毘羅線	14.0	1.4	1965	59	R4				点検					点検	
103	旧旭橋	町道 旭町駅西線	18.6	4.8	1934	90	R3			点検					点検		
104	下旭橋	町道 正島旭町線	12.5	1.5	1967	57	R3			点検			↔		点検		
105	下旭上橋	町道 正島旭町線	17.5	1.4	1965	59	R3			点検					点検		
106	巾橋	町道 正島巾線	8.8	2.8	1970	54	R5				点検					点検	
107	寝覚ノ床1号橋	町道 ねざめの床線	2.4	2.0	1961	63	R3			点検					点検		
108	寝覚ノ床2号橋	町道 ねざめの床線	5.3	2.0	1961	63	R3			点検					点検		
109	小野ヶ谷橋	町道 肥沢線	126.4	2.0	1954	70	R5				点検					点検	
114	串ヶ下沢橋	町道 宮戸線	3.2	3.0	1978	46	R1	点検					点検				
115	箱置沢橋	町道 宮戸線	2.9	3.5	1980	44	R2		点検					点検			
116	宮戸上橋	町道 86号線	4.2	3.0	2022	2	R5	点検					点検				
117	諸原橋	町道 諸原線	90.2	2.0	1956	68	R5				点検					点検	
118	川渡沢橋	町道 諸原線	8.7	4.0	2000	24	R2		点検					点検			
122	大屋敷橋	町道 フトウ線	8.1	0.9	1990	34	R4				点検					点検	
124	高山2号橋	町道 高山上線	4.7	3.3	1959	65	R4				点検					点検	
127	灰沢橋	町道 灰沢線	53.0	4.0	1978	46	R2		点検				↔	点検			
128	下新田橋	町道 灰沢線	21.8	4.1	1978	46	R2		点検					↔	点検		
129	中新田橋	町道 灰沢線	16.5	4.0	1980	44	R4				点検					点検	
130	上新田橋	町道 灰沢線	12.5	4.0	1980	44	R4				点検					点検	↔
131	大瀬木橋	町道 藤久保線	11.0	1.5	1990	34	R4				点検					点検	
136	焼笹才児4号橋	町道 焼笹・才児線	7.9	1.3	1990	34	R3			点検					点検		

橋梁 番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	対策の内容・時期										
								R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
138	中ノ沢橋	町道 中ノ沢線	10.4	3.6	1966	58	R4				点検						点検	
140	横手橋	町道 練沢線	6.3	4.0	1980	44	R2		点検					点検			↔	
144	宮戸橋	町道 宮戸線	4.2	4.0	2022	2	R4				点検						点検	
151	鳥屋尾橋	町道 赤沢線	30.6	4.0	1965	59	R3		点検				点検					
152	小中尾橋	町道 赤沢線	10.5	4.4	1970	54	R2		点検				点検				↔	
153	北股橋	町道 赤沢線	30.6	4.0	1965	59	R4				点検						点検	
154	南股橋	町道 赤沢線	36.6	4.0	1965	59	R3			点検						点検		
155	麴香沢橋	町道 赤沢線	8.5	4.0	1966	58	R2		点検				点検					
156	上麴香沢橋	町道 ジャ香沢線	13.9	4.8	1974	50	R4			↔	点検						点検	
157	野口橋	町道 野口中線	9.0	4.6	1985	39	R2		点検				点検					
158	下河原橋1	町道 立町北線	4.0	6.0	1985	39	R2		点検				点検				↔	
159	沖田1号橋	町道 正島旭町線	4.0	1.7	1951	73	R3			点検						点検		
160	近所橋	町道 近所住宅線	9.7	6.0	1987	37	R3		点検				点検					↔
162	奥荒田橋	町道 荒田線	11.4	4.0	1985	39	R4				点検						点検	
163	登玉2号橋	町道 登玉線	9.4	5.0	1990	34	R2		点検				点検					↔
164	境ノ沢橋	町道 登玉線	10.6	5.0	1990	34	R4				点検						点検	
167	下河原橋2	町道 下河原線	92.0	4.0	1975	49	R3			点検						点検		
168	下河原1号橋	町道 下河原諸原線	8.0	4.5	1974	50	R2		点検					点検				
169	下河原2号橋	町道 下河原諸原線	6.0	4.5	1974	50	R2		↔	点検				点検				
170	下河原3号橋	町道 下河原諸原線	6.0	4.5	1974	50	R2	↔	点検					点検				
171	滑川大橋	町道 滑川砂防公園線	92.0	4.0	1990	34	R4		↔		点検						点検	
172	小川橋	町道 小川線	96.8	5.0	1965	59	R3			点検						点検		
173	中沢橋1	町道 広小路見帰線	28.2	9.0	1965	59	R3			点検						点検		
174	中沢橋2	町道 栄町小野線	25.0	8.4	1954	70	R3			点検						点検		
175	見帰跨道橋	町道 栄町小野線	22.3	8.8	1993	31	R3			点検				↔	点検			
176	滑川橋	町道 栄町小野線	26.3	6.1	1954	70	R3			点検	↔					点検		
177	南上条跨道橋	町道 町道121号	22.0	4.9	2010	14	R3			点検						点検		
178	北上条第二跨道橋	町道 町道121号	29.1	4.9	2011	13	R3			点検						点検		
179	長坂栈道橋	町道 長坂沓掛線	190.1	7.8	1966	58	R5	↔	点検					点検				
180	新茶屋橋	町道 長坂沓掛線	8.9	13.9	1965	59	R4	↔			点検						点検	
181	曇呑橋	町道 長坂沓掛線	8.5	8.5	1969	55	R4				点検						点検	
182	万路沢橋	町道 長坂沓掛線	5.0	7.7	1965	59	R4				点検						点検	
183	万路沢側歩道橋	町道 長坂沓掛線	5.2	2.0	1965	59	R4				点検						点検	
184	かけはし栈道橋	町道 長坂沓掛線	40.6	5.1	1966	58	R4				点検						点検	
185	小田野橋	町道 処理場線	84.5	5.0	2002	22	R4				点検						点検	
186	沖田跨線橋	町道 小田野・田口線	18.0	2.2	1970	54	R2				↔	点検					点検	
187	旭橋	町道 小田野・田口線	17.0	7.0	2019	5	R4				点検						点検	
188	寝覚跨道橋	町道 松原線	51.6	4.0	1987	37	R4			点検						点検		
合 計 (百万円)								83	93	41	63	15	52	52	51	60	59	

※1 架設年度及び供用年数は推定値を含みます。

※2: 対象の内容・時期については、実施設計や財政状況等により予告なしに変更することがあります。

4) 緊急対策費用

■早期補修型橋梁

(設計委託費, JR特別作業費, 足場費用, 消費税含まず)

橋梁 コード	橋名	橋長 (m)	橋種	架設 年次	径 間 数	部材評価												全 体 評 価	優 先 順 位	補 修 費 (千円)	補修費					備 考
						主 桁	横 桁	床 版	下 部 工 1	下 部 工 2	支 承	舗 装	伸 縮	高 欄	地 覆	排 水	そ の 他				2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
																					R6	R7	R8	R9	R10	
179	長坂栈道橋	190.1	鋼	1966	9	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2-3	35,000	35,000						工事継続中
186	沖田跨線橋	18.0	鋼	1970	7	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅲ	5-1	20,000			20,000			R8補修設計予定(JR)
036	高倉橋	31.1	PC	1963	1	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅲ	5-5	10,000			10,000			R7年補修設計予定
180	新茶屋橋	8.9	RC	1965	1	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	Ⅲ	6-1	20,000	20,000					R4補修設計済
156	上麿香沢橋	13.9	鋼	1974	1	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅲ	6-2	15,000			15,000			R7補修設計予定
169	下河原2号橋	6.0	RC	1974	1	Ⅲ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	Ⅲ	6-3	18,000		18,000				R5補修設計済
171	滑川大橋	92.0	鋼	1990	1	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	-	Ⅲ	8-1	28,000		28,000				R4補修設計済
035	大畑橋	51.5	PC	1986	2	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅲ	8-6	30,000		30,000				R6年補修設計予定
176	滑川橋	26.3	RC	1954	1	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	Ⅲ	8-14	12,000			12,000			R8年補修設計予定
170	下河原3号橋	6.0	RC	1974	1	Ⅰ	-	-	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	-	Ⅰ	-	-	Ⅲ	9-20	17,000	17,000					R5補修設計済
事業費計																		205,000	72,000	76,000	25,000	32,000	0			

※対象の内容・時期については、実施設計や財政状況等により予告なしに変更することがあります。

※補修工事は補修設計済を優先して行います。

※JR沖田跨線橋補修計画：R8年度補修設計着手予定であるが、補修工事は、JRとの調整により年度、工事費の変更有。

■維持対応橋梁

(維持工事で対応)

橋梁 コード	橋名	橋長 (m)	橋種	架設 年次	径 間 数	部材評価												全 体 評 価	優 先 順 位	補 修 費 (千円)	補修費					備 考
						主 桁	横 桁	床 版	下 部 工 1	下 部 工 2	支 承	舗 装	伸 縮	高 欄	地 覆	排 水	そ の 他				2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
																					R6	R7	R8	R9	R10	
117	諸原橋	90.2	吊橋	1956	1	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	-	-	-	Ⅲ	2-2	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	毎年一定額で補修
103	旧旭橋	18.6	鋼	1934	1	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅲ	2-4	1,500	300	300	300	300	300	毎年一定額で補修
024	向高山橋	12.5	PC	1988	1	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	Ⅲ	8-3	500			500			下部工洗掘
003	高山橋	12.4	鋼	1976	1	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅱ	9-1	200			200			下部工背面の凹凸
002	穴沢橋	3.2	RC	1961	1	Ⅱ	-	-	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅰ	-	-	Ⅲ	9-7	500	500					小規模橋梁の下部工洗掘
007	大木橋	4.4	RC	1990	1	Ⅱ	-	-	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅲ	9-8	500		500				小規模橋梁の下部工洗掘
183	万路沢側歩道橋	5.2	RC	1965	1	Ⅱ	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅱ	9-9	200				200		下部工背面の凹凸
182	万路沢橋	5.0	RC	1965	1	Ⅱ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	-	-	Ⅲ	9-25	500				500		地覆鉄筋露出
114	串ヶ下沢橋	3.2	RC	1978	1	Ⅰ	-	-	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	Ⅲ	9-26	1,000	1,000					下部工ひびわれ
事業費計																		9,900	2,800	1,800	2,000	2,000	1,300			

(参考)：Ⅲ判定の橋梁

橋梁 コード	橋名	橋長 (m)	橋種	架設 年次	径 間 数	部材評価												全 体 評 価	優 先 順 位	補 修 費 (千円)	補修費					備 考		
						主 桁	横 桁	床 版	下 部 工 1	下 部 工 2	支 承	舗 装	伸 縮	高 欄	地 覆	排 水	そ の 他				2024年	2025年	2026年	2027年	2028年			
																					R6	R7	R8	R9	R10			
109	小野ヶ谷橋	126.4	吊橋	1954	1	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	Ⅳ	2-1	※廃橋予定	※全体評価は、点検調査どおり記載					使い切り型→通行止		
127	灰沢橋	53.0	鋼	1978	2	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅱ	3-1								順位は上位だが全体Ⅱ判定	
138	中ノ沢橋	10.4	鋼	1966	1	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	-	-	Ⅲ	9-5	※廃橋予定								使い切り型→通行止
164	境ノ沢橋	10.6	RC	1990	1	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	Ⅲ	9-27	※廃橋予定								使い切り型→通行止
事業費計																		0	0	0	0	0	0					

■事業計画一覧

橋梁コード 予防保全型 
 橋梁コード 使い切り型 
 橋梁コード 早期補修型 
 橋梁コード 早期架替型

橋梁コード	橋名	橋長(m)	全体評価	耐荷性	重要度	優先順位	事業費(千円)										工法	
							2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9	2028年 R10	2029年 R11	2030年 R12	2031年 R13	2032年 R14	2033年 R15		
1	001	荒田橋	13.4	II	72	13	9-10			330				8,608	330			床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、支承:金属溶射,モルタル補修(R12)
2	002	穴沢橋	3.2	III	66	13	9-7		200					200				維持対応:下部工洗掘補修(R6)
3	003	高山橋	12.4	II	62	13	9-1				290				6,421			維持対応:下部工背面の段差解消(R8) 主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
4	005	仏法橋	9.6	II	82	13	9-21	270					270			2,313		主部材:含侵&吊足場(R15)
5	006	神田橋	9.2	II	82	13	9-22	270					270			2,961		主部材:含侵&吊足場(R15)
6	007	大木橋	4.4	III	66	13	9-8	200					200	1,176				維持対応:下部工洗掘補修(R7)、 主部材:含侵&吊足場、下部工:含侵&注入&断面修復&足場(R12)
7	008	芦島橋	10.4	II	80	13	9-19			330			5,114	330				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、支承:金属溶射,モルタル補修(R12)
8	010	吉野橋	65.0	II	82	48	8-5		580				580	31,820				床版:含侵&注入&吊足場(R13)
9	011	空澤橋	6.5	II	74	13	9-12		250				250		3,600			主部材:含侵&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
10	015	焼笹橋	29.6	II	54	30	5-4			390				390				
11	020	棧橋	51.1	II	92	48	8-10			400				400				
12	021	池島橋	2.2	II	92	13	9-28		200				200		602			下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
13	023	木賊橋	3.8	II	62	13	9-2		200				3,873	200				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、支承:金属溶射,モルタル補修(R11)
14	024	向高山橋	12.5	III	84	53	8-3			330				330				維持対応:下部工補修(R8)
15	025	小脇橋	13.5	I	100	13	9-33				330				330			
16	026	川畑橋	8.4	I	100	13	9-34				240				240			
17	027	しみっくり橋	13.2	I	100	13	9-35	290					290					
18	028	山室橋	5.9	I	100	13	9-36				300				300			
19	029	黒田橋	9.2	I	100	13	9-37				230				230			
20	030	桃山橋	99.7	II	52	48	5-2			510				510				
21	031	釜中沢橋	14.0	II	72	13	9-11				330				9,334			主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、 支承:金属溶射,モルタル補修(R14)
22	033	田代沢橋	2.8	II	74	13	9-13		200				200		1,368			主部材:含侵&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
23	035	大畑橋	51.6	III	82	48	8-6		30,460				460		10,703			下部工:含侵&注入&断面修復&足場、支承:モルタル補修(R7)、主部材:含侵&吊足場(R15)
24	036	高倉橋	31.1	III	54	30	5-5			10,390				390				主部材:含侵&注入&断面修復&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、 支承:金属溶射,モルタル補修(R8)
25	037	トヤノ沢橋	3.0	I	100	13	9-38			200				200				
26	045	復興橋	12.5	II	74	13	9-14			400				400		11,937		床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R15)
27	100	笹沢橋	5.7	II	74	13	9-15				300				300			
28	101	十王橋	17.6	I	100	30	8-23				390				390			
29	102	若宮橋	14.0	II	82	13	9-23				260				260			
30	103	旧旭橋	18.6	III	18	30	2-4			330				330				維持対応(R6)~(R10)
31	104	下旭橋	12.5	II	64	13	9-3						973					主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:部材取替&吊足場(R12)
32	105	下旭上橋	17.5	II	82	30	8-20											
33	106	巾橋	8.8	I	100	53	8-7				270				270			
34	107	寝覚ノ床1号橋	2.4	II	64	13	9-4											
35	108	寝覚ノ床2号橋	5.3	II	56	13	6-4											
36	109	小野ヶ谷橋	126.4	IV	0	48	2-1				2,590				2,590			使い切り型
37	114	串ヶ下沢橋	3.2	III	84	13	9-26	200					200					維持対応:下部工補修(R6)
38	115	箱置沢橋	2.9	II	100	13	9-39		200				200					
39	116	宮戸上橋	4.2	I	100	13	9-40	200					200					
40	117	諸原橋	90.2	III	12	48	2-2				2,550				2,550			維持対応(R6)~(R10)
41	118	川渡沢橋	8.7	I	100	13	9-41		230					230				

橋梁コード	橋名	橋長(m)	全体評価	耐荷性	重要度	優先順位	事業費(千円)									工法		
							2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9	2028年 R10	2029年 R11	2030年 R12	2031年 R13	2032年 R14		2033年 R15	
42	122	大屋敷橋	8.1	I	100	53	8-8											
43	124	高山2号橋	4.7	II	82	53	8-2											
44	127	灰沢橋	53.0	II	52	88	3-1		460				36,310	460				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、支承:金属溶射,モルタル補修(R11)
45	128	下新田橋	21.8	II	74	70	7-2		390				7,875					床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R12)
46	129	中新田橋	16.5	II	82	30	8-21				330			3,715				主部材:3種ケレン&塗装&吊足場(R14)
47	130	上新田橋	12.5	II	82	13	9-24				330			330	8,223			主部材:3種ケレン&塗装&吊足場(R15)
48	131	大瀬木橋	11.0	I	100	53	8-9											
49	136	焼笹才児4号橋	7.9	I	100	13	9-42											
50	138	中ノ沢橋	10.4	III	64	13	9-5				330				330			使い切り型
51	140	横手橋	6.3	II	92	13	9-29		230				230		1,373			下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
52	144	宮戸橋	4.2	I	100	13	9-43				200				200			
53	151	鳥屋尾橋	30.7	II	72	30	8-17		390				390					
54	152	小中尾橋	10.5	II	74	13	9-16		330				330		2,924			床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
55	153	北股橋	30.6	II	82	30	8-22				390				390			
56	154	南股橋	36.6	II	74	30	8-18				400			400				
57	155	麿香沢橋	8.5	II	92	13	9-30		230				230					
58	156	上麿香沢橋	13.9	III	46	13	6-2			15,000	330				330			主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&注入&断面修復&足場、支承:金属溶射,モルタル補修(R8)
59	157	野口橋	9.1	I	100	13	9-44		240				240					
60	158	下河原橋1	3.9	II	74	13	9-17		230				230		2,781			主部材:含侵&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場(R14)
61	159	沖田1号橋	4.0	II	64	13	9-6											
62	160	近所橋	9.7	II	92	13	9-31		310				310		5,375			下部工:含侵&断面修復&足場(R15)
63	162	奥荒田橋	11.4	I	100	13	9-45				330				330			
64	163	登玉2号橋	9.5	II	92	13	9-32		270				270		2,699			下部工:含侵&断面修復&足場(R15)
65	164	境ノ沢橋	10.7	III	84	13	9-27				330				330			使い切り型
66	167	下河原橋2	92.0	II	54	48	5-3			520				520				
67	168	下河原1号橋	8.0	II	78	13	9-18		230				2,660					主部材:含侵&吊足場、舗装:打替(R12)
68	169	下河原2号橋	6.0	III	52	13	6-3			18,230			230					主部材:含侵&注入&断面修復&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、舗装:打替(R7)
69	170	下河原3号橋	6.0	III	80	13	9-20	17,000	230				230					下部工:含侵&注入&断面修復&足場、舗装:打替(R6)
70	171	滑川大橋	92.0	III	64	48	8-1		28,000		450				450			床版:含侵&注入&吊足場、下部工:含侵&断面修復&足場、支承:金属溶射,モルタル補修(R7)
71	172	小川橋	96.8	II	80	48	8-4				520				520			
72	173	中沢橋1	28.2	II	74	30	8-19				460				460			
73	174	中沢橋2	25.0	II	64	30	8-13				450				450			
74	175	見帰跨道橋	22.3	II	88	43	8-12				710			9,652	710			下部工:含侵&断面修復&足場、舗装:打替(R12)
75	176	滑川橋	26.3	III	64	30	8-14				400	12,000			400			床版:含侵&注入&上面増厚&吊足場(R9)
76	177	南上条跨道橋	22.0	II	96	43	8-15				490				490			
77	178	北上条第二跨道橋	29.1	II	98	43	8-16				530				530			
78	179	長坂栈道橋	190.1	III	12	48	2-3	35,000	730				730					主部材:3種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&上面増厚&吊足場、下部工:含侵&注入&断面修復&足場(R6)
79	180	新茶屋橋	8.9	III	44	13	6-1	20,000			310				310			主部材:含侵&吊足場、床版:含侵&注入&上面増厚&吊足場、支承:金属溶射,モルタル補修(R6)
80	181	曇呑橋	8.5	I	100	13	9-46				310				310			
81	182	万路沢橋	7.0	III	82	13	9-25				230				230			維持対応:地覆補修(R9)
82	183	万路沢側歩道橋	5.2	II	66	13	9-9				200				200			維持対応:下部工背面の段差解消(R9)
83	184	かけはし栈道橋	40.6	II	56	30	5-6				450				450			
84	185	小田野橋	84.5	II	92	48	8-11				520				520			

橋梁コード	橋名	橋長(m)	全体評価	耐荷性	重要度	優先順位	事業費(千円)									工法				
							2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9	2028年 R10	2029年 R11	2030年 R12	2031年 R13	2032年 R14		2033年 R15			
85	186	沖田跨線橋	18.0	Ⅲ	32	43	5-1				24,940						4,940		主部材:1種ケレン&塗装&吊足場、床版:含侵&注入&吊足場、 支承:金属溶射,モルタル補修、舗装:打替(R9)	
86	187	旭橋	17.0	I	100	70	7-3				390						390			
87	188	寝覚跨道橋	51.6	I	100	100	7-1			870				870						
合計							73,430	83,020	33,960	50,450		41,613	42,458	40,780	49,618	44,211				
設計委託費・事業計画委託費							10,000	10,000	10,000	10,000	15,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	15,000			
総事業費							83,430	93,020	43,960	60,450	15,000	51,613	52,458	50,780	59,618	59,211				

※対象の内容・時期については、実施設計や財政状況等により予告なしに変更することがあります。

【事業費内訳】

税抜き(千円)

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	備考
点検費	1,430	7,020	8,960	18,450		1,430	7,020	8,960	18,450		
補修費						40,183	35,438	31,820	31,168	44,211	※架替費用、緊急補修費を除く
小計	1,430	7,020	8,960	18,450		41,613	42,458	40,780	49,618	44,211	※予算制約 5,000万円以下

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	備考
架替費用											
緊急補修費	72,000	76,000	25,000	32,000							
小計	72,000	76,000	25,000	32,000							

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	備考
設計委託費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
事業計画委託費					5,000					5,000	
小計	10,000	10,000	10,000	10,000	15,000	10,000	10,000	10,000	10,000	15,000	

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	備考
事業費合計	83,430	93,020	43,960	60,450	15,000	51,613	52,458	50,780	59,618	59,211	

6. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

上松町 建設水道課 土木係 電話：0264 - 52 - 2001

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

長野工業高等専門学校名誉教授 永藤 壽宮